

# 1 【感謝しつつ主の門に】

Ab Db  
 感謝しつつ 主の門に  
 Eb7 Db Ab  
 賛美しつつ その大庭に  
 Ab Db Eb7 Ab  
 入れ、はいれ、入れ、はいれ

## 【新聖歌282 見ゆるところに】

- 見ゆるところに よらずして  
 信仰によりて 歩むべし  
 何もみえず また聞かずとも 神の御約束に立ち  
 ※  
 歩めよ信仰により 歩め歩め疑わで  
 歩めよ信仰により 見ゆるところにはよらで
- 見ゆるところは いかなるも  
 われ早(は) や得たりと 信じつつ  
 疑うことなく 歩みなば 必ずそのごとくならん

## 【主はみ座におられる】

主は み座におられる 聖なるお方  
 イエスの愛をうけて 賛美をささげよう  
 主の 臨在の中で 大いなる勝利を  
 ほふられた小羊に ころから叫ぼう  
 主に ハレルヤ ハレルヤ ハレルヤ  
 主に ハレルヤ ハレルヤ ハレルヤ

主の 聖なる宮に 今われらは行こう  
 聖徒らと共に主の み前であがめよう

## 【主イエスをほめよ】

主イエスをほめよ 主イエスをほめよ  
 主イエスをほめよ そのみわざを  
 われを罪より 救いあがない  
 主イエスをほめよ そのみわざを

# 5 祈りのガイドライン

1. 賛美と感謝の祈り ビリビ4の4~7
2. 悔い改めと主を慕い求める祈り 詩篇51
3. 個人的な願いの祈り ヨハネ15の7
4. とりなしの祈り 1テモテ2の1~4/エペソ4

- ①大和カルバリーチャペルと大川牧師ご夫妻のため
- ②瀬戸カルバリーチャペルと倉知牧師家族のため
- ③クリスチャンが成長し、整えられ、用いられますように  
 =教会員が恵まれて、礼拝・祈禱会・奉仕・献金・伝道ができますように
- ④求道者が与えられ、救われますように→受洗者
- ⑤教会近隣の方が集われますように
- ⑥若い献身者が与えられますように
- ⑦ジョイキッズとユースの働きが充実しますように
- ⑧高齢の方々のフォローが十分になされますように
- ⑨Seto Life Art Studio が用いられますように  
 =ウクレレ・キッズ英語・ゴスペル・モンテッソーリ教室・音楽ミサなど
- ⑩50人→100人→200人と教会が成長しますように

## 5. 日本と世界とエルサレムの平和を願って...

- コロナ禍からの解放・医療従事者と政治判断のため

## 信仰宣言

「私の家族は全員救われます」  
 「日本にはりバイバルが始まっています」  
 「私も用いられます」  
 「すべての問題は解決します」  
 「することなすこと、みな成功します」  
 「私のまわりには奇跡が起こります」  
 「すべてのことを感謝します」  
 「イエス様と一緒にですから」  
 「ハレルヤ主よ感謝します」

瀬戸カルバリーチャペル Seto LIFE ART Studio

489-0909 愛知県瀬戸市みずの坂 5-64 0561-48-8899  
 牧師：倉知契 kei.kurachi@gmail.com



## 詩篇100篇

感謝の供え物のための歌

- 1 全地よ、主にむかって喜ばしき声をあげよ。
- 2 喜びをもって主に仕えよ。  
歌いつつ、そのみ前にきたれ。
- 3 主こそ神であることを知れ。  
われらを造られたものは主であって、  
われらは主のものである。
- 4 感謝しつつ、その門に入り、  
ほめたたえつつ、その大庭に入れ。  
主に感謝し、そのみ名をほめまつれ。
- 5 主は恵みふかく、そのいつくしみはかぎりなく、  
そのまことはよろず代に及ぶからである。

## 祈りの小径(こみち)

Number: 100 瀬戸カルバリーチャペル

「祈りの小径(こみち)」の名称は、愛知県瀬戸市・せとのもの街の名所「窯垣の小径」と、詩人・八木重吉の作品にある「祈りの路」から名付けられました。各ページにある数字の順に、賛美→聖書→黙想→解説→祈りを致します。

## 2 今日の聖書のことば

ゆっくり読んで黙想しましょう。

使徒行伝8章25～35節

25 使徒たちは力強くあかしをなし、また主の言を語った後、サマリア人の多くの村々に福音を宣べ伝えて、エルサレムに帰った。

26 しかし、主の使がピリポにむかって言った、「立って南方に行き、エルサレムからガザへ下る道に出なさい」（このガザは、今は荒れはてている）。

27 そこで、彼は立って出かけた。すると、ちょうど、エチオピア人の女王カンダケの高官で、女王の財宝全部を管理していた宦官（かんがん）であるエチオピア人が、礼拝のためエルサレムに上り、28 その帰途についていたところであった。彼は自分の馬車に乗って、預言者イザヤの書を読んでいた。29 御霊がピリポに「進み寄って、あの馬車に並んで行きなさい」と言った。30 そこでピリポが駆けて行くと、預言者イザヤの書を読んでいるその人の声が聞えたので、「あなたは、読んでいることが、おわかりですか」と尋ねた。31 彼は「だけれど、手びきをしてくれなければ、どうしてわかりましょう」と答えた。そして、馬車に乗って一緒にすわるようにと、ピリポにすすめた。32 彼が読んでいた聖書の箇所は、これであった、

「彼は、ほふり場に引かれて行く羊のように、また、黙々として、毛を刈る者の前に立つ小羊のように、口を開かない。

33 彼は、いやしめられて、そのさばきも行われなかった。だれが、彼の子孫のことを語ることができようか、彼の命が地上から取り去られているからには」。

34 宦官はピリポにむかって言った、「お尋ねしますが、ここで預言者はだれのことを言っているのですか。自分のことですか、それとも、だれかほかの人のことですか」。35 そこでピリポは口を開き、この聖句から説き起して、イエスのことを宣べ伝えた。

## 3 黙想(Life Art Meditation)の時間

(感じたこと・恵まれたことをノートします)

## 4 みことばの解説

### 祈りの小径 100回 記念!

2020年3月26日が「祈りの小径」の第一号(写真右)です！丁度二年前。まさか就任して一年経たないうちに礼拝や祈禱会を閉じて、録画したものをYouTubeで公開するようになるとは想像もできませんでした。日曜礼拝は、前日土曜に収録し、メディアのO兄がその晩編集し、翌朝日曜日に公開。でも祈禱会はどうしようか？それでこの「祈りの小径パンフレット」が誕生しました。



これを手に、順番に開けば、①賛美して ②聖書を読み ③黙想して(最初は質問もありましたね) ④解説も読めて ⑤ガイドに沿ってお祈りする。もともと祈りに参加できない方でも、祈ることが出来るように！との思いを込めて、毎週これを制作してきました。そして毎週休まずにこれをHPに載せてくださっているO兄にも感謝します。そして全国には、これを毎週楽しみにしてくださっている方までいるのです！なんと有難いことでしょうか。

教会とは祈りの共同体です。力強い奇跡と救いがぞくぞくとなされた使徒行伝の初代教会は祈りから生まれました。歩み続けてきた「祈りの小径」は、大きな祝福をたくさん体験させていただきました。この道はまだ続きます。ご一緒に、八木重吉が歌ったような、祈りの路を「つくって」ゆきましょう。

ゆきなれた路の

なつかしくて耐えられぬように

わたしの祈りのみちをつくりたい 八木重吉

今日のメッセージのポイントだけ記します！

**エチオピアの高官の「救いの道の3つの真実」**  
使徒行伝8章

- ① ピリポの従順 (1) 主の声に敏感であった！  
(2) 出来ることを何でもした！
- ② エチオピアの高官の求道
- ③ 神の時＝すべては神の恵み！